



JR四国労働新聞

J R S U

2014年
6月20日
No.12(420)

四国旅客鉄道労働組合
〒760-0021 高松市西の丸町11-9
TEL(NTT)087-851-1378
(JR)086-2597~2598
http://jr4u.jrsu.com/
発行責任者/中濱 齊
編集責任者/眞鍋健治

創ろう！つなごう！新たな次代へ！ スローガン（案）

第33回定期大会 職場討議資料

本部は、7月4日・5日の両日、高知市の三翠園において「第33回定期大会」を開催し、今年一年間の総括と向こう一年間の運動方針を決定します。職場討議資料を活用した、代議員各位の真摯な討議を要請します。

一般経過報告

安全・安定輸送に向けた取り組みについて

1 安全・安定輸送の確保について

「安全・安定輸送」は、JR四国労働組合の立脚点であり、常に優先事項として取り組まれています。人命を尊重し、安全・安定輸送の確保に努め、社会に貢献することを最大の使命として認識し、安全・安定輸送の確保に努めます。

2 安全衛生活動について

組合員の安全と健康を確保し、安全衛生活動を推進します。安全衛生委員会の設置や、安全衛生活動の推進など、安全衛生の確保に努めます。

3 2014春季生活闘争をはじめとする労働条件改善の取り組みについて

2014年春季生活闘争をはじめとする労働条件改善の取り組みについて、組合員各位の理解と協力を要請します。

4 2014春季生活闘争のまとめ

2014年春季生活闘争のまとめとして、組合員各位の理解と協力を要請します。

（1）組合員各位の理解と協力を要請します。安全・安定輸送の確保に努めます。安全衛生活動を推進します。労働条件改善の取り組みについて、組合員各位の理解と協力を要請します。

（2）組合員各位の理解と協力を要請します。安全・安定輸送の確保に努めます。安全衛生活動を推進します。労働条件改善の取り組みについて、組合員各位の理解と協力を要請します。

（3）組合員各位の理解と協力を要請します。安全・安定輸送の確保に努めます。安全衛生活動を推進します。労働条件改善の取り組みについて、組合員各位の理解と協力を要請します。

ため、安全の確保を最優先に、自立経営の確立に向けて、全社員の一体となって経営課題の解決に全力を傾注してまいりました。このコメントが、また、36協定について、その方法を指示し、本社の把握できるダブルチェック体制としたこと、との考え方が明らかに。間管理が制度に反映され、適正化を図られること、有効期間を半年間として締結することとした。

組合は、今年度の新賃金については、残念ながら13年連続ベースアップがゼロという結果となったが、「定期算給」の実施と「超過勤務手当」の増額改善は、鉄道運輸収入が依然として低い水準の中、日々への取り組みや効率化の取組みや、また、減収に歯止めをかけるべく増収活動に取り組むこと、今日の組合員の努力と、今後の課題解決に向けた取り組みを考慮し、現時点での全社員の受止め、全組合員の夏季手当の取り組みを夏手前まで反映するよう強く要請し、妥結しました。

1 労働協約改訂等について、会社側は、これら11項目の主旨を明らかにし、会社側は、これら11項目の主旨を明らかにし、会社側は、これら11項目の主旨を明らかにし、

3 期末手当の取り組みについて、平成25年度年末手当については、平成26年度夏季手当については、

2 総合労働協約の改訂等について、平成26年度夏季手当については、

4 職場環境改善の取組みについて、平成26年度夏季手当については、

5 ジェイ・アール四国のバス労働条件改善の取組みについて、平成26年度夏季手当については、

6 賞与の取組みについて、平成26年度夏季手当については、

7 活闘争のまとめ、平成2014春季生の取組みについて、平成26年度夏季手当については、

2014春闘の基本... 自動車の業務委員会... 労働組合の活動... 賃上げの交渉... 労務改革の推進...

賞与の取り組みについて... 平成26年度の夏季賞与... 労務改革の進展... 賃上げの交渉... 労務改革の推進...

「一企業一組合」組織の充実・強化の取り組みについて... 組合員数の推移... 労務改革の進展... 賃上げの交渉... 労務改革の推進...

1 組合員数の推移... 2 「一企業一組合」組織の充実・強化の取り組みについて... 労務改革の進展... 賃上げの交渉... 労務改革の推進...

2 「一企業一組合」組織の充実・強化の取り組みについて... 労務改革の進展... 賃上げの交渉... 労務改革の推進...

3 民主化闘争への取り組みについて... 労務改革の進展... 賃上げの交渉... 労務改革の推進...

4 「JR四国」退職者連絡会... 労務改革の進展... 賃上げの交渉... 労務改革の推進...

青年女性会議の育成・強化について... 労務改革の進展... 賃上げの交渉... 労務改革の推進...

労働組合の活動... 賃上げの交渉... 労務改革の推進... 労務改革の進展...

Table with 10 columns: 労働時間, 賃金, 賞与, etc. Data for various union members.

(6) 平成26年度夏季... 労務改革の進展... 賃上げの交渉... 労務改革の推進...

(7) 職場環境改善の取り組み... 労務改革の進展... 賃上げの交渉... 労務改革の推進...

(8) 各県協主催春闘... 労務改革の進展... 賃上げの交渉... 労務改革の推進...

(9) 地区集催の開催... 労務改革の進展... 賃上げの交渉... 労務改革の推進...

(10) 新成人組合員学習会の開催... 労務改革の進展... 賃上げの交渉... 労務改革の推進...

(11) 新入組合員学習会の開催... 労務改革の進展... 賃上げの交渉... 労務改革の推進...

(12) 退職者連絡会... 労務改革の進展... 賃上げの交渉... 労務改革の推進...

(13) 青年女性会議の育成・強化について... 労務改革の進展... 賃上げの交渉... 労務改革の推進...

(14) 労働組合の活動... 賃上げの交渉... 労務改革の推進...

その意見交換を行い、それぞれの地域で主体的なボランティア活動を積極的に展開することを確認した。JR四国労組は、青年女性会議を中心に「鉄道交通安全教室」を毎年開催しており、今年度は、6月24日愛媛県西条市において開催するとともに、全組合員が参加できるボランティア活動として、空き缶のプルタブ回収を実施した。また、新たなボランティアの実施に向けて検討を重ねた。

政治・共闘活動の取り組みについて

1 政治関係について

(1) 第23回参議院選挙の取り組み結果について JR四国労組は、第23回参議院選挙において推薦候補者3名を決定し、各県協を中心として、各選挙区に向けて総力を挙げて取り組みを展開していった。

その結果、民主党は結党以来最低の17(△27)議席という歴史的惨敗となり、参議院第1党から転落し、国民から厳しい審判を受けた。JR四国労組の推薦候補者においても、全員落選という非常に厳しい結果となった。

【徳島県協推薦候補者】中谷 智司(民主党・徳島県選挙区)【落選】

【高知県協推薦候補者】武内 則男(民主党・高知県選挙区)【落選】

【JR連合推薦候補者】さだみつ 克之(民主党・比例代表)【落選】

(2) JR四国労組 国会議員選挙の取り組みについて

任期満了に伴う、高知県土佐市市議会議員選挙が、4月13日告示された。今回の選挙は、JR四国労組の推薦候補者として、高知県協の江瀬士佐氏(幹事長)が立候補し、高知県協を中心として、推薦の取り組みを当選に向けて展開した。結果、立候補者数が定数と同数となり無投票で九期目の当選を果たすことができた。

選挙が、4月13日告示された。今回の選挙は、JR四国労組の推薦候補者として、高知県協の江瀬士佐氏(幹事長)が立候補し、高知県協を中心として、推薦の取り組みを当選に向けて展開した。結果、立候補者数が定数と同数となり無投票で九期目の当選を果たすことができた。

(3) JR連合国会議員懇談会の活動について

JR連合国会議員懇談会は、4月17日に衆議院第2回議員会館において、第58回懇談会を開催し、次年度重点政策の概要、次年度予算・税制改正の取り組み、当面する組織課題について活発な意見交換を行った。懇談会の中で、JR総連・日貨労における質問等があり、この間、特別業務助定や税制改正等の政策課題の解決に向けて議員懇談会としても精力的に取り組んでいく方針を明らかにした。また、4月21日には、21世紀の鉄道を考える議員フォーラムを開催し、議員の政策秘書との意見交換会を開催し、政策課題ならびに組織課題の解決に向けて取り組む方針を明らかにした。また、2014年交通重点政策の実現に向け、配布の国会議員向けに、積極的な行動を展開していき

(4) JR四国労組 国会議員連絡会の活動について

JR四国労組「四国の鉄道を考える国会議員連絡会」の活動について JR四国労組は、国会議員との連携強化を図るため、議員懇談会に加え、議員団会との連携強化を図る。現在、JR四国労組は、議員団会に加盟する議員は、鳴崎副団長の引退により2名となっており、私たちが求めるところは、政策課題の実現のためには、地域と密接に関わる議員団会との連携強化が重要である。2013年交通重点政策の課題実現のために、連絡体制を密にし、政策課題の実現に向けて取り組みを強化していき

員連絡会」は、四国における総合交通体系の確立や様々な政策課題の解決を目指すとして、四国各県を選挙区とする国民民主党議員全員に賛同いただき活動を展開していき。昨年11月19日には「JR四国の現状と今後の課題等」をテーマに衆議院第2回議員会館において第11回連絡会を開催し、活発な意見交換を行いました。

(5) JR四国労組 議員懇談会との連携強化について

JR四国労組は、議員懇談会に加え、議員団会との連携強化を図る。現在、JR四国労組は、議員団会に加盟する議員は、鳴崎副団長の引退により2名となっており、私たちが求めるところは、政策課題の実現のためには、地域と密接に関わる議員団会との連携強化が重要である。2013年交通重点政策の課題実現のために、連絡体制を密にし、政策課題の実現に向けて取り組みを強化していき

協について JR四国連合加盟組合は、JR四国内における労働組合の連合体として活動を展開していき。2月15日には、香川県多津町において「第22回定期委員会」を開催し、執行体制の確立と一年間の活動方針を決定した。また、グループ労組の連合会に集う全単組の労働条件底上げと、総掛かりの春闘参加を図るため、グループ労組の調査を実施し、新たな賃金目標の設定を行うとともに、2月に大阪において開催された「JR連合・グループ労組総連合会」にも参加した。

(3) JR四国グループ労働組合連合会について

JR四国グループ労働組合連合会は、12月17日、香川県高松市において「第19回定期大会」を開催し、新執行体制の確立と一年間の活動方針を決定した。また、株式会社高松駅弁が全事業を閉鎖(会社解散)することとなった。このため、退職金等の整理や組合員説明会の開催、さらには組合財産の清算等の支援を行うこととした。

ました。レクリエーション・サークル活動の取り組みについて 昨年8月20日に「サークル協議会運営委員会」を開催し、平成24年度の経費報告と平成25年度の行事予定について、確認・検証を行うとともに、本部主催行事についても議論を重ね、より充実した活動と各級機関においてそれぞれ行事開催を行うことを確認しました。また、各県協・支部・分会においても独自のサークル活動や「四国再発見」を中心とした活動が

(2) JR連合四国地区の課題解決に向けて様々な要請行動等を展開しました。

の課題解決に向けて様々な要請行動等を展開しました。JR連合四国地区は、JR四国内における労働組合の連合体として活動を展開していき。2月15日には、香川県多津町において「第22回定期委員会」を開催し、執行体制の確立と一年間の活動方針を決定した。また、グループ労組の連合会に集う全単組の労働条件底上げと、総掛かりの春闘参加を図るため、グループ労組の調査を実施し、新たな賃金目標の設定を行うとともに、2月に大阪において開催された「JR連合・グループ労組総連合会」にも参加した。

氏 多度津運動区分会(グロス75) 【第12回ボウリング大会】開催日 平成26年3月12日 開催場所 香川県高松市「シーサイドポウル高松」

【第23回ゴルフ大会】開催日 平成25年10月29日 開催場所 徳島県鳴門市「グランドベイ鳴門ゴルフクラブ」

優勝 吉本昭仁氏 準優勝 柳原幸治氏 松山運動所分会 3位 岩崎哲也氏 高松自動車分会 ベスグロ 多田陽起

第9回・第10回 本部執行委員会開催

第9回本部執行委員会は、5月9日(金)13時から本部1階会議室で開催された。なお、第9回執行委員会での、経過報告及び議事は次のとおりであった。

【経過報告】

- ・組織の強化拡大(経営協議会)
- ・平成25年度決算(JR四国・ジェイアール四国バス)
- ・代議員選挙日程及び代議員定数について(職場対話)
- ・香川及び本社支部(青女)
- ・支部対抗軟式野球大会(JR連合)
- ・国会議員懇談会
- ・組織財政検討委員会
- ・組織戦略会議

【第2回ドッジボール大会】開催日 平成26年3月29日 開催場所 香川県丸亀市「飯山総合運動公園体育館」

優勝 自動車支部 準優勝 愛媛支部

【福祉・共済事業活動の取り組みについて】

組合員とその家族の暮らしを守る福祉事業活動の推進には、組合員の理解と参画意識の高揚が必要である。そのため、JR四国労組の取り組みを積極的に取り組む各各種共済について

第10回本部執行委員会開催

第10回本部執行委員会は、6月13日(金)第3回組織財政専門委員会終了後本部1階会議室で開催され、前回以降の経過及び議事について意思統一を図った。なお、第10回執行委員会での、経過報告及び議事は次のとおりであった。

【経過報告】

- ・組織の強化拡大(経営協議会)
- ・安全・事故防止、平成25年度諸施策(JR四国)
- ・安全・事故防止(ジェイアール四国バス)
- ・平成26年度夏季手当・夏季賞与(JR四国・ジェイアール四国バス)
- ・ユニオンスクール「特設コース」(教育)
- ・部外及び部内監査委員会
- ・第3回組織財政専門委員会
- ・大阪地区集会(組織)
- ・徳島支部出向組合員対話集会
- ・香川・本社支部出向組合員対話集会(事業)
- ・乗務員共済運営委員会(業務)
- ・安全推進委員会(青女)
- ・JR連合「ユースラリー」(JR連合)
- ・政策PT

【第2回ドッジボール大会】開催日 平成26年3月29日 開催場所 香川県丸亀市「飯山総合運動公園体育館」

優勝 自動車支部 準優勝 愛媛支部

【福祉・共済事業活動の取り組みについて】

組合員とその家族の暮らしを守る福祉事業活動の推進には、組合員の理解と参画意識の高揚が必要である。そのため、JR四国労組の取り組みを積極的に取り組む各各種共済について

国内外労働者との連帯活動について

国内外労働者との連帯活動について 昨年の大会以降、連合・JR連合・交通労働者・ITF等の主催する諸活動に積極的に取り組まれました。

【議事】

- ①平成25年度決算における剰余金の処理に
- ②平成26年度の財政方針について
- ③第33回定期大会「議案書(案)」について
- ・役割分担について
- ・細部の取り扱いについて
- ・諸規則の一部改正について
- ④総合労働協約改訂に関する要求項目の集約について
- ⑤ダイヤ改正に伴う経営協議会への付議事項について
- ⑥JR連合「第23回定期大会」について
- ⑦当面するスケジュールについて
- ⑧その他

いて継続的に周知活動を行いました。交通共済活動は、共済担当者会議、分会長会議等への出席など積極的な活動を推進しました。

また、賛助団体の「アフラックがん保険」及びJR連合「長期家族サボ病共済」「JR私傷病共済」「JR四国労組セツト共済(全労済)」等は適宜、資料送付を行い情報提供に努めました。

運動方針(案)

はじめに

昨年7月の定期大会で、私は「安全・安定・安心」を第一とし、

神で、次の3点を基調とし、責任と自覚を持って、

I 安全・安定・安心の確立

JR四国バス及びジェイアール四国バスで働く

II 組織の強化・拡大

労働組合の原点である「相互扶助の精神」

III 労働環境の改善

JR四国バス及びジェイアール四国バスで働く

安全・安定輸送に向けた取り組み

1 安全・安定輸送の確立について

JR四国は、平成26年度事業計画において

2 安全衛生活動について

安全衛生活動の原点は、現場にあり、

労働条件改善の取り組みについて

1 総合労働協約改訂の取り組みについて

総合労働協約改訂の取り組みについて

2 期末手当の取り組みについて

JR四国労働組合は、平成26年度事業計画

3 2015春季生活闘争について

JR連合は、役員報酬の引き上げを認めず

4 職場環境改善の取り組みについて

職場環境改善の取り組みについて

5 効率化等会社施策の対応について

会社は平成26年度計画に基づき

6 ジェイアール四国の労働条件改善の取り組みについて

JR四国労働組合は、安全・安定輸送の推進

2 組織の充実・強化の取り組みについて

組織の充実・強化の取り組みについて

3 賞与の取り組み

賞与の取り組みについて

4 職場環境改善の取り組み

職場環境改善の取り組みについて

1 「企業一組合」組織の充実・強化の取り組みについて

「企業一組合」組織の充実・強化の取り組みについて

2 組織の充実・強化の取り組みについて

組織の充実・強化の取り組みについて

3 拡大分会長会議(春闘討論集会)の開催

拡大分会長会議(春闘討論集会)の開催

安全・安定輸送の原点は、現場にあり、

労働条件改善の取り組みについて

2015春季生活闘争について

職場環境改善の取り組みについて

効率化等会社施策の対応について

ジェイアール四国の労働条件改善の取り組みについて

組織の充実・強化の取り組みについて

県協において開催し、2015春闘をはじめとする当面の取り組みについて意思統一を図ります。

(3) 職場対話行動及び地区集会の開催
本部・支部・分会の連携強化により、各職場における問題点の把握、さらには当面の把持課題について地区集会等で議論を行い、合意形成に努めます。

(4) 出向組合員への対応
各支部主催による出向組合員対話集会をより充実したものとし、問題点の整理等を行います。

(5) 未加入者及びエキスパート社員、契約社員、パート社員、パートアルバイト組合員
エキスパート組合員に拡大状況をあわせて、エキスパート組合員対話集会の開催を検討します。

(6) 分会組織の活性化
運動の原点である分会の活性化を図るため、分会の現状を把握するとともに、必要により学習会や組合員対話集会を開催するなど、支援体制の強化を図ります。

(7) 新規採用者に対する組織拡大の取り組み
新規採用者および採用者の全員加入に取り組みるとともに、新入社員に対する指導・育成を図ります。

入後のフォローアップ体制を充実していきます。また、新規採用者の歓迎会を4月に開催し、配属先となる各支部・分会において、学習会を開催するなど、新入組合員の職場における不安解消に向けた取り組みを実施します。

3 民主化闘争への取り組み
JR連合は、1999年に「民主化闘争宣言」を発し、国鉄改革の残滓であるJR連合の浸透する革マル派を一掃することによって、JR労働界の分裂状況を最終的に統合することを目指し、今日まで果敢に運動を展開してきました。

1987年4月1日、新生JRスタート時、労働組合は鉄道労働者連(後JR総連と改称)、鉄産総連、国労などが併存する形でいたが、1991年に革マル派の独善的な組織運営に反発して、JR西労組、JR東海労組(現JR九州労組)、JR四国労組の4単組と鉄産総連に加盟する6単組が、1992年5月18日にJR連合を結成しました。

合同労組の合併により、単組が中心となり、労組間の連携を強化し、組織の発展に努めます。

第25回中央委員会の開催に向け、各地区の状況を把握し、労働者の権利拡大を求め、民主化闘争の軸となるべき課題を抽出し、重点的に対応してまいります。

4 JR四国労組退職者連絡会の充実強化
JR四国労組退職者連絡会では、退職者の生活の安定を確保し、労働者の権利拡大を求め、民主化闘争の軸となるべき課題を抽出し、重点的に対応してまいります。

1997年4月1日、新生JRスタート時、労働組合は鉄道労働者連(後JR総連と改称)、鉄産総連、国労などが併存する形でいたが、1991年に革マル派の独善的な組織運営に反発して、JR西労組、JR東海労組(現JR九州労組)、JR四国労組の4単組と鉄産総連に加盟する6単組が、1992年5月18日にJR連合を結成しました。

青年女性会議の育成・強化に努めてまいります。

労働組合は、労働者の権利拡大を求め、民主化闘争の軸となるべき課題を抽出し、重点的に対応してまいります。

5 男女平等参画推進の取り組み
男女平等参画推進の取り組みは、労働者の権利拡大を求め、民主化闘争の軸となるべき課題を抽出し、重点的に対応してまいります。

1997年4月1日、新生JRスタート時、労働組合は鉄道労働者連(後JR総連と改称)、鉄産総連、国労などが併存する形でいたが、1991年に革マル派の独善的な組織運営に反発して、JR西労組、JR東海労組(現JR九州労組)、JR四国労組の4単組と鉄産総連に加盟する6単組が、1992年5月18日にJR連合を結成しました。

部会活動の充実・強化に努めてまいります。

労働組合は、労働者の権利拡大を求め、民主化闘争の軸となるべき課題を抽出し、重点的に対応してまいります。

6 政策課題の解決への取り組み
政策課題の解決への取り組みは、労働者の権利拡大を求め、民主化闘争の軸となるべき課題を抽出し、重点的に対応してまいります。

1997年4月1日、新生JRスタート時、労働組合は鉄道労働者連(後JR総連と改称)、鉄産総連、国労などが併存する形でいたが、1991年に革マル派の独善的な組織運営に反発して、JR西労組、JR東海労組(現JR九州労組)、JR四国労組の4単組と鉄産総連に加盟する6単組が、1992年5月18日にJR連合を結成しました。

部会活動の充実・強化に努めてまいります。

労働組合は、労働者の権利拡大を求め、民主化闘争の軸となるべき課題を抽出し、重点的に対応してまいります。

7 高速道路料金の策への対応
高速道路料金の策への対応は、労働者の権利拡大を求め、民主化闘争の軸となるべき課題を抽出し、重点的に対応してまいります。

1997年4月1日、新生JRスタート時、労働組合は鉄道労働者連(後JR総連と改称)、鉄産総連、国労などが併存する形でいたが、1991年に革マル派の独善的な組織運営に反発して、JR西労組、JR東海労組(現JR九州労組)、JR四国労組の4単組と鉄産総連に加盟する6単組が、1992年5月18日にJR連合を結成しました。

部会活動の充実・強化に努めてまいります。

労働組合は、労働者の権利拡大を求め、民主化闘争の軸となるべき課題を抽出し、重点的に対応してまいります。

8 国・地方の連携強化
国・地方の連携強化は、労働者の権利拡大を求め、民主化闘争の軸となるべき課題を抽出し、重点的に対応してまいります。

1997年4月1日、新生JRスタート時、労働組合は鉄道労働者連(後JR総連と改称)、鉄産総連、国労などが併存する形でいたが、1991年に革マル派の独善的な組織運営に反発して、JR西労組、JR東海労組(現JR九州労組)、JR四国労組の4単組と鉄産総連に加盟する6単組が、1992年5月18日にJR連合を結成しました。

部会活動の充実・強化に努めてまいります。

労働組合は、労働者の権利拡大を求め、民主化闘争の軸となるべき課題を抽出し、重点的に対応してまいります。

9 安全対策の徹底
安全対策の徹底は、労働者の権利拡大を求め、民主化闘争の軸となるべき課題を抽出し、重点的に対応してまいります。

1997年4月1日、新生JRスタート時、労働組合は鉄道労働者連(後JR総連と改称)、鉄産総連、国労などが併存する形でいたが、1991年に革マル派の独善的な組織運営に反発して、JR西労組、JR東海労組(現JR九州労組)、JR四国労組の4単組と鉄産総連に加盟する6単組が、1992年5月18日にJR連合を結成しました。

部会活動の充実・強化に努めてまいります。

労働組合は、労働者の権利拡大を求め、民主化闘争の軸となるべき課題を抽出し、重点的に対応してまいります。

10 労働者の権利拡大
労働者の権利拡大は、労働者の権利拡大を求め、民主化闘争の軸となるべき課題を抽出し、重点的に対応してまいります。

1997年4月1日、新生JRスタート時、労働組合は鉄道労働者連(後JR総連と改称)、鉄産総連、国労などが併存する形でいたが、1991年に革マル派の独善的な組織運営に反発して、JR西労組、JR東海労組(現JR九州労組)、JR四国労組の4単組と鉄産総連に加盟する6単組が、1992年5月18日にJR連合を結成しました。

部会活動の充実・強化に努めてまいります。

